

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名:

環境森林部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県環境学習情報センター (四日市市桜町3684-11)
指定管理者の名称等	アクティオ株式会社 代表取締役社長 植村敏明 (東京都目黒区下目黒1丁目1番11号 目黒東洋ビル4階)
指定の期間	平成20年4月1日～平成23年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の保全に関する啓発及び普及を行うこと ・環境の保全に関する研修会、講習会等を行うこと ・環境に関する情報の収集及び提供を行うこと ・環境の保全に関する活動の促進及び交流等を図ること ・その他(施設等の維持管理及び修繕に関すること等)

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H20	B		展示室設備等の維持管理、貸室業務、図書管理、啓発パネル・教材キットの貸出など、施設の維持管理を適切に行った。 しかし、平成21年度に、個人情報保護に関して講座参加者のメールアドレスを誤って漏洩する事例が1件発生した。 また、センター内外で各種講座を開催するとともに、イベント開催や「こどもエコクラブ」の支援、かんきょう川柳の募集など、啓発や活動促進にも努めた。
H21	B	—	
H22	B		

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H20	B		主催講座や出前講座の開催、イベントの開催、イベントへの出展等の積極的な取組により、環境教育参加者数は平成20年度から22年度の3ヶ年とも目標値を上回った。参加者数自体も増加しており、当センターの利用拡大につながったと評価できる。
H21	B		
H22	B		

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	143,879,000	事業費	127,326,219
利用料金収入	26,000	管理費	17,000,347
その他の収入	174,993	その他の支出	0
合計 (a)	144,079,993	合計 (b)	144,326,566
収支差額 (a)-(b)	△ 246,573		

※参考

利用料金減免額	209,500
---------	---------

5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績				
			成果目標項目	目標値	H20実績値	H21実績値	H22実績値
H20	B	—	環境教育参加者数(H20年度)	21,500(人)	21,873	—	—
			環境教育参加者数(H21年度)	22,000(人)	—	25,150	—
			環境教育参加者数(H22年度)	22,500(人)	—	—	28,557
H21	B		児童生徒を対象とした環境教育参加者数	7,000(人)	8,113	7,092	8,484
			指導者養成を目的とした講座受講者数	1,000(人)	735	1,064	1,039
			講座毎の参加者の満足度	90%(括弧内は平均)	94~100(99.7)	59~100(97.5)	83~100(99.6)
H22	A		こどもエコクラブの入会者数	5,500人	18,156	17,720	16,626
			一般県民を対象とした環境学習参加者数	2,700人	3,797	3,007	3,318
			「今日のニュース」等の情報発信数	365回	395	400	368
全期間におけるコメント							
<p>環境教育参加者数、児童生徒を対象とした環境教育参加者数については、全ての年度で目標を上回った。 指導者養成を目的とした講座受講者数は、初年度のみ目標を達成できなかった。 講座毎の参加者の満足度は、初年度のみ目標を達成できたが、2・3年目は計3講座で目標を達成できなかった。 独自に定めた自主目標については、3項目とも全ての年度で目標を上回った。</p>							

6 総括評価

<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備や図書等の管理、貸室・教材の貸出業務など、適切な維持管理を行うとともに、エコカフェコーナーの設置など、来館者が利用しやすい環境づくりに努めた。 ・施設見学・体験講座等の受入れ、県内各地での主催講座・出前講座の開催のほか、「こどもエコフェア」等のイベントの開催や各地のイベントへの出展も積極的に行った。 ・情報誌の発行やメールマガジンの配信、かんきょう川柳の募集やオリジナルキャラクターの作成など、啓発・PRにも努めた。 ・講座毎にアンケートを実施するとともに、出前講座等における依頼者との事前打合せなど、要望に沿える講座づくりを進めた。 <p>・その結果、利用者数(環境教育参加者数)は、指定管理制度導入前の平成19年度の20,599人から平成22年度の28,557人まで増加した。</p> <p>・また、指導者養成を目的とした講座の受講者数も大幅に伸びた。</p> <p>・以上に加え、参加者の満足度も高いことから、県民サービスの向上、環境保全に関わる人材育成の促進につながったと考えられる。</p> <p>・平成23年度から5年間も引き続き同じ指定管理者が管理を行うが、今後とも、県民ニーズに対応しながら講座内容の充実等に努めるとともに、指導者養成講座の修了者が指導者として活動できるよう支援を行っていくことも必要である。</p>
--

- ※ 「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :
- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
 - 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
 - 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※ 「3 施設の利用状況」
 「5 成果目標及びその実績」の自己評価 :
- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 当初の目標を達成している。
 - 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
 - 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
- ※ 県の評価 :
- 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 - 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 - 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。